

迎春



大いなる飛躍の年に

国東市議会議長 馬場 将郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成27年の新春を迎え、清々しくお過ごしのことと思います。日頃より、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、また議会運営に対し温かいご指導、ご理解を賜り心からお礼申し上げます。

さて、昨年一年を振り返りますと、4月には3回目の市議会議員選挙が行われ、定数20名という新体制での国東市議会がスタートいたしました。選挙後の初議会では新しい議会構成のもと、不肖私、議員各位の選任を頂き議長に就任いたしました。今、あらためてその責任の大きさを痛感しております。また、本年度から地方議会及び議員の審議能力強化のため政務活動費を導入し、「提案する議会」へと努力しているところです。

さて、来年3月には国東市が合併して10年目を迎えることとなります。市庁舎の建設、消防本部の

建設など大規模な事業を進めているなか、昨年発表された日本創世会議の2040年人口推計によると、国東市の女性減少率が県内で最も高くなるとされており、国東市では地方自治の根幹である、人口の減少や少子高齢化への対応が急務であります。また、産業の振興や防災対策など克服すべき課題を多く抱えており、議会といたしましてこの問題を最優先に考え、一丸となって取り組んで参りたいと思っております。また、同時に「信頼される議会」、「開かれた議会」を構築するためにも、皆様の声を大切にしながら、議員一人ひとりが使命を持ち、市長とともに市政発展のため大いに飛躍できるような努力していく所存でございます。

今後とも、市議会に対しまして変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして、実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。



市民が安心・安全に暮らせる 国東市づくりをめざして

国東市長 三河 明史

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年末には、衆議院議員選挙が実施され、例年にも増して本当にあわただしい年の瀬になりました。

国東市は昨年、行政執行の核となる新庁舎建設や、防災拠点となる消防本署建設、防災面の強化として、市内全域の防災無線の統合整備等の大型事業に着手いたしました。これらの事業は、市民の皆様が安心・安全に暮らせる「国東市づくり」に、大きな一歩を踏み出したこととなります。

また、少子高齢化や人口減少は国東市だけの問題ではなく、国においても深刻な問題として捉えています。いかにして、地方を活性化させるか、政府も「地方創生」に向けて本腰を入れようとしています。

私は、国東市の活性化のために市長就任以来、一貫として、小ね

ぎ栽培技術の研修所の開設や、牡蠣の養殖、ヒジキの築磯、また、常緑果樹農業研修所跡地の「国東市農業団地」計画の推進等、第一次産業の振興を図ってまいりました。今後はさらに、世界農業遺産やシーニックバイウェイ、峯道ロングトレイルの認定や、多くの人が来て下さった国東半島芸術祭を一時的なものにせず、これらを活用して、なお一層の地域活性化を図っていききたいと考えています。

ところで、今年はいつじ年です。いつじのように穏やかな年になると良いのですが、私は、社会のめまぐるしい変化にもしっかりと対応し、見極め国東市の舵を取っていかうと、決意を新たにしています。

結びに、本年も全身全霊を傾け、市民の皆様の先頭に立って頑張りぬくことをお誓い申し上げますとともに、市民の皆様にとりまして今年一年がよい年でありますよう心から祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。